

第143回総会および研究会開催

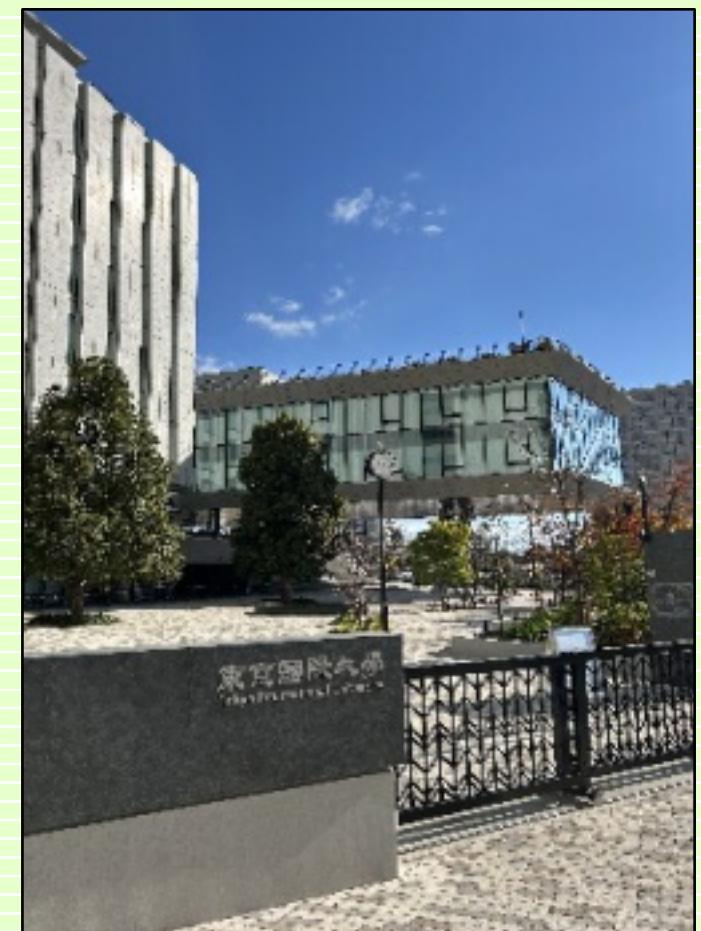
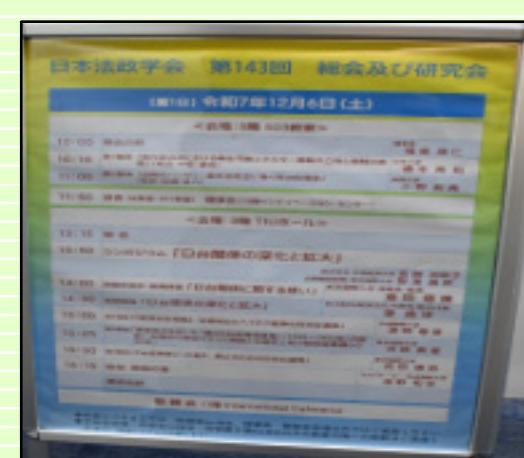
令和7年12月6日～7日

於：東京国際大学池袋キャンパス

令和7年12月6日・7日の2日間にわたり、第143回日本法政学会総会および研究会が、東京国際大学池袋キャンパスで開催された。各日程共に多数の会員が集まつた。1日目に2報告およびシンポジウム、2日目には6報告がなされ、非常に充実した内容であった。

【第一報告】桶本秀和会員「地方自治体における再生可能エネルギー施設の立地と規制の実態」【第二報告】小野義典会員「近時のハンガリー基本法改正に働く政治的理念」【第三報告】楳裕輔会員「オーストリアにおける1919年4月3日の貴族廃止法に関する考察－2019年10月9日の憲法裁判所判決を中心に－」【第四報告】大橋由純会員「ジェイムズ・ケア＝ハーディの規範原理について－コケイン批判の観点から－」【第五報告】杉本篤史会員「『言語に関する権利』の日本国内法への受容について」

撮影：広報委員



撮影：広報委員

【第一報告】

桶本秀和会員



【第三報告】

楳裕輔会員



【第五報告】

杉本篤史会員



【第七報告】

堀野裕子会員



【第二報告】

小野義典会員



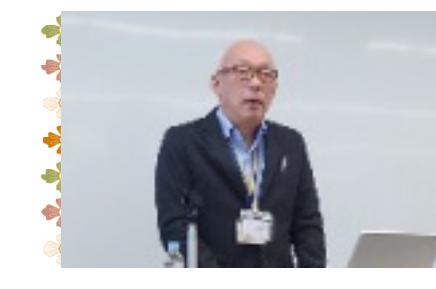
【第四報告】

大橋由純会員



【第六報告】

渡邊瓦会員



【第八報告】

吳紅敏会員



～シンポジウム～

日台関係の深化と拡大

シンポジウムは、「日台関係の深化と拡大」というテーマで行われた。

【開催校挨拶・基調講演】東京国際大学理事長・総長 倉田信靖「日台関係に関する想い」【基調講演】台北駐日経済文化代表処 駐日代表

李逸洋「日台関係の深化と拡大」

【第一報告】漆畠春彦会員「半導体産業と経済安全保障」【第二報告】河崎眞澄会員「軍事衝突を防いだ『第3次台湾海峡危機』（1995～1996年）の教訓－中国初の弾道ミサイル発射と台湾史上初の総統直接選挙



倉田信靖様

【総括】浅野和生会員

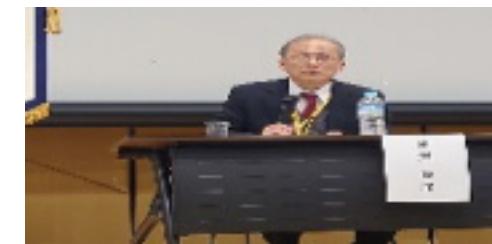
各報告の後、活発な質疑が行われた。



李逸洋様



浅野和生会員



漆畠春彦会員